

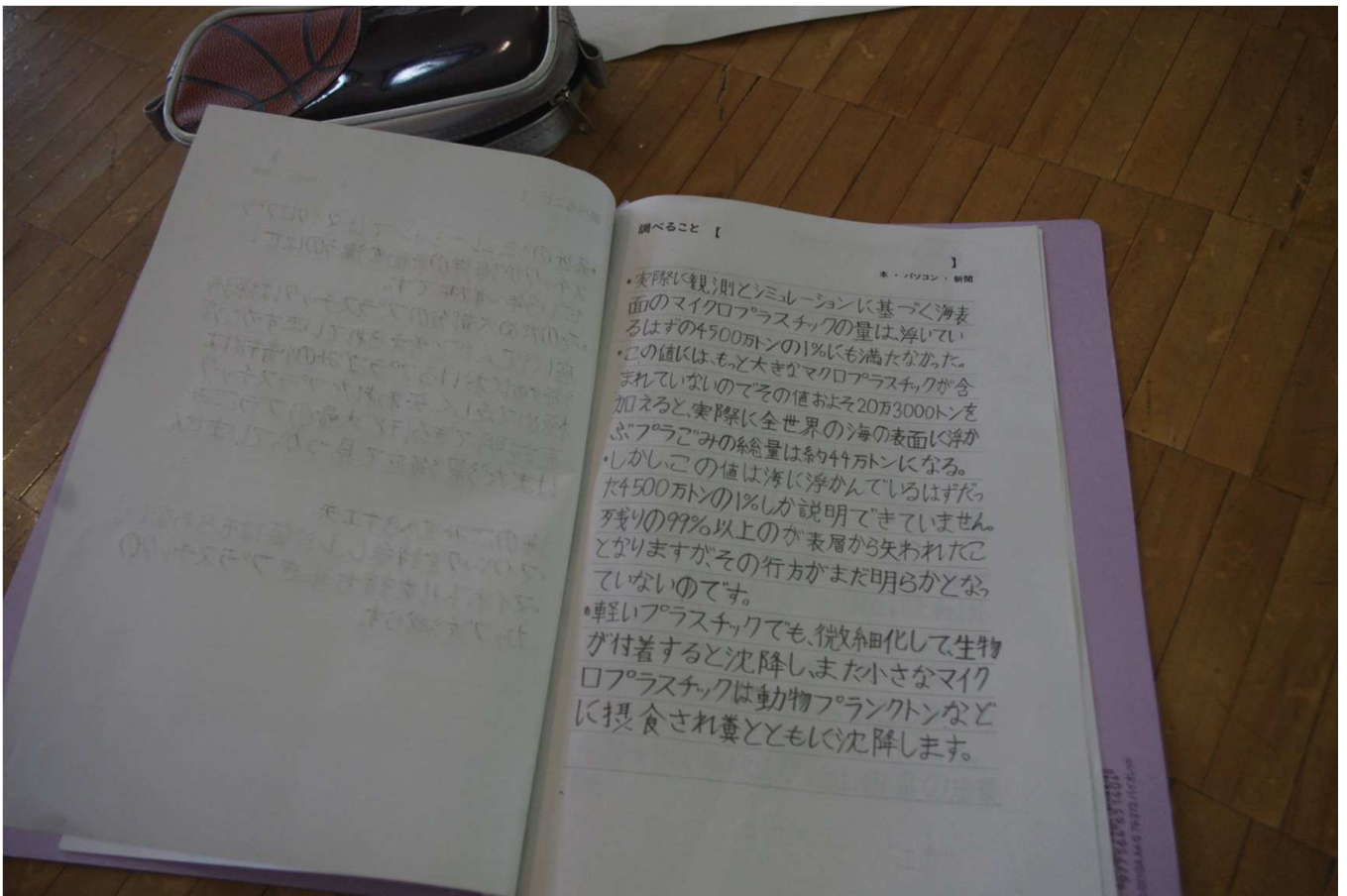
調べること

本・パソコン・新聞

- 最近のシミュレーションではマイクロプラスチックが海洋の表面を漂うのはせいぜい3年〜数年です。
- そのため大部分のプラスチックは深海底に沈んだと考えられていますが、深海域におけるプラごみの情報は極めて乏しく、矢われたプラスチックを説明できるほど大量のプラごみはまだ深海底で見つかっていません。

海のごみをへらす工夫

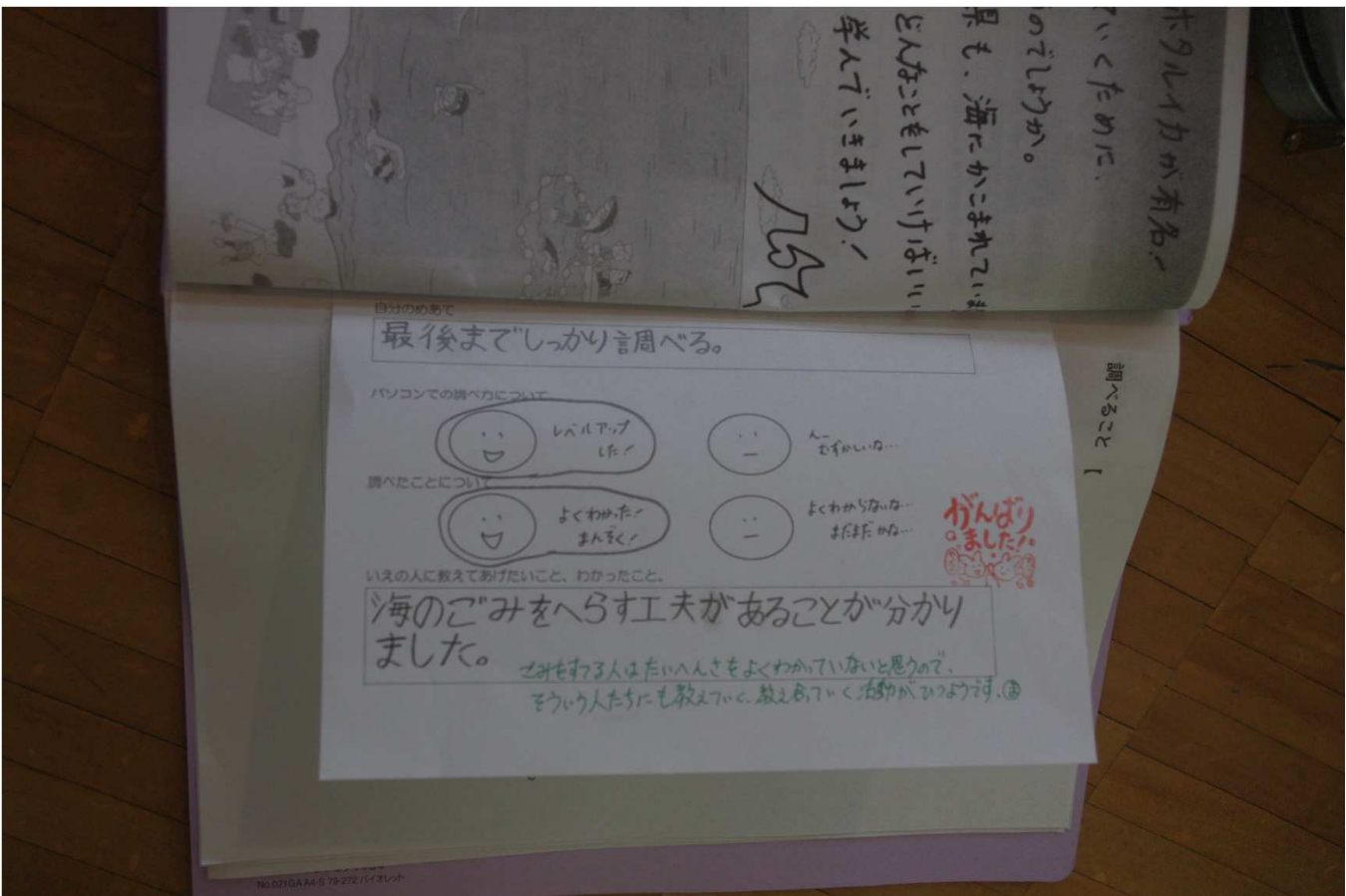
- マイバックを持参し、レジ袋はもらわない。
- マイボトルを持ち歩き、プラスチックのカップを減らす。



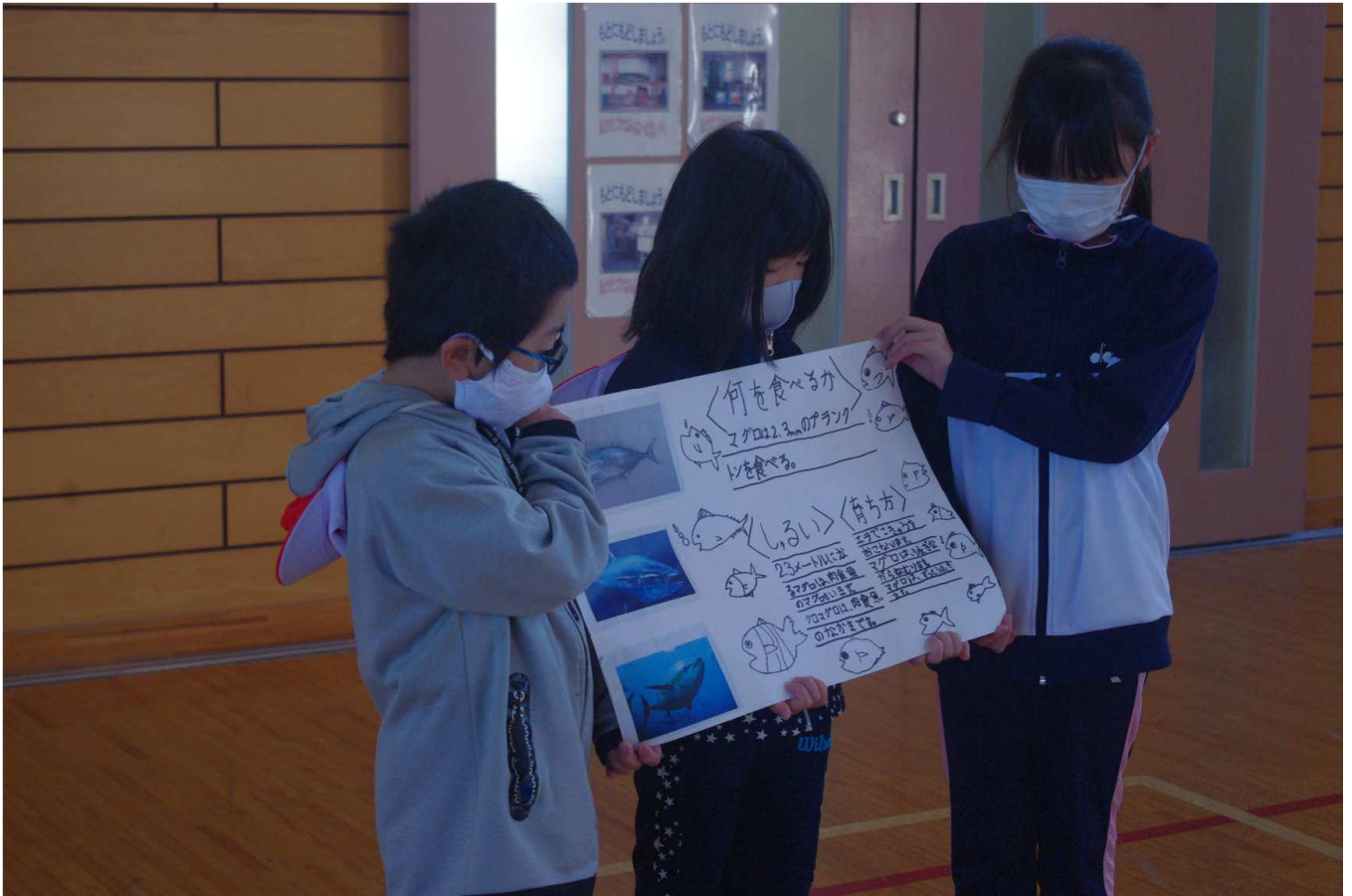
調べること

本・パソコン・新聞

- 実際の観測とシミュレーションに基づく海表面のマイクロプラスチックの量は、浮いているはずの4500万トンの1%にも満たなかった。
- この値は、もと大きなマイクロプラスチックが含まれていないのでその値おおよそ20万3000トンを加えると、実際に全世界の海の表面に浮かぶプラごみの総量は約44万トンになる。
- しかし、この値は海に浮かんでいるはずの4500万トンの1%しか説明できていません。残りの99%以上が表層から矢われたこととなりますが、その行方がまだ明らかとなっていないのです。
- 軽いプラスチックでも、微細化して生物が付着すると沈降し、また小さなマイクロプラスチックは動物プランクトンなどに摂食され糞とともに沈降します。

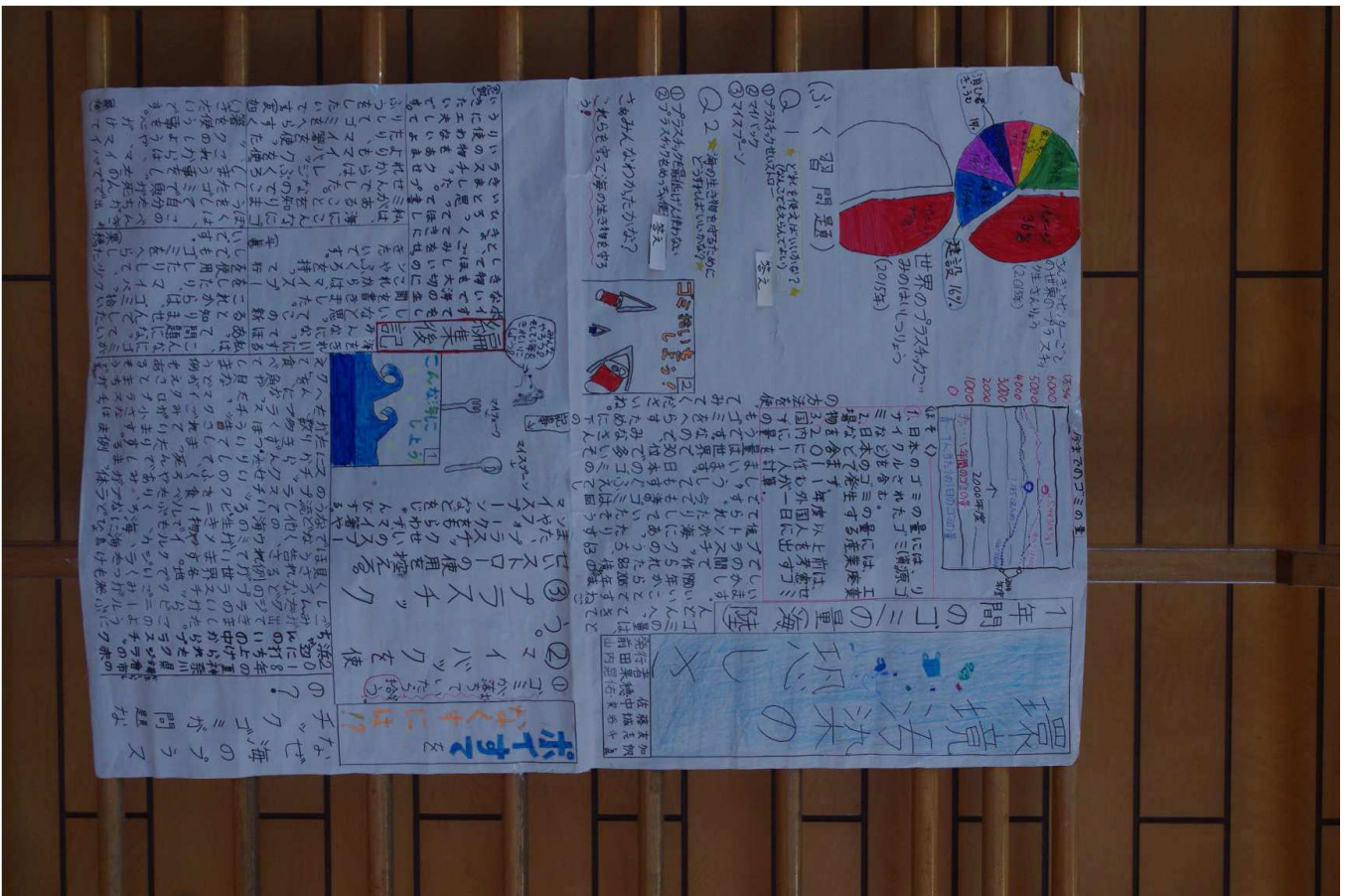










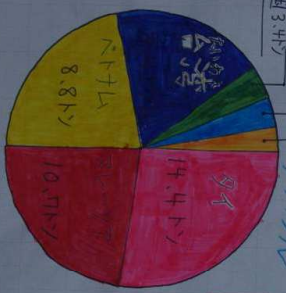


# ゴミ新聞

北上市 河村 大前

順位	国	トン
1位	中国	2.2億
2位	インドネシア	1.4億
3位	アメリカ	1.0億
4位	ロシア	0.8億
5位	タイ	0.7億
6位	エジプト	0.6億
7位	マレーシア	0.5億
8位	インドネシア	0.4億
9位	タイ	0.3億
10位	インドネシア	0.2億

先出の日本は、約120億トンが、上に出る。



日本は、約120億トンが、上に出る。これは、約120億トンが、上に出る。これは、約120億トンが、上に出る。

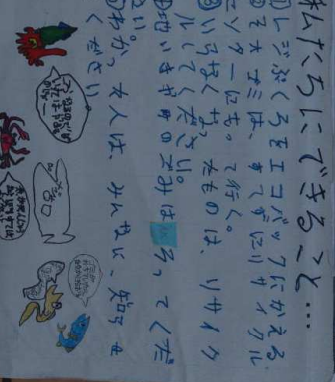
# ゴミ新聞

北上市 河村 大前

海にすてられるゴミの総量は、2019年、1億4千万トンです。これは、2015年よりも、3億3千万トン増えています。

私たちにできること...  
 ①レジ袋を減らす  
 ②ペットボトルを減らす  
 ③紙を減らす  
 ④水を減らす  
 ⑤ゴミを減らす

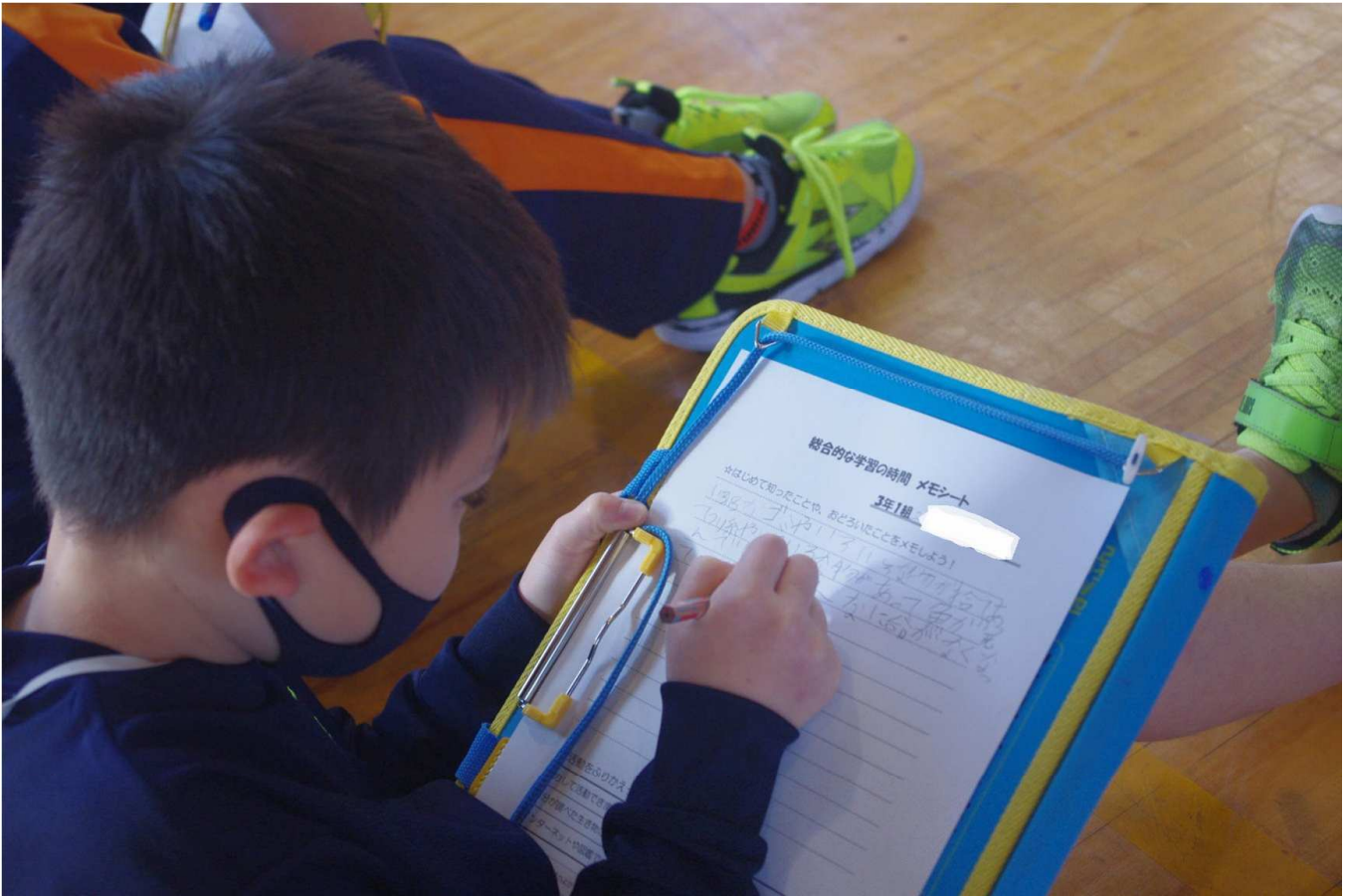
編集後記  
 このゴミ新聞は、ゴミの減量について、少しでも多くの人に知ってもらいたいと思います。

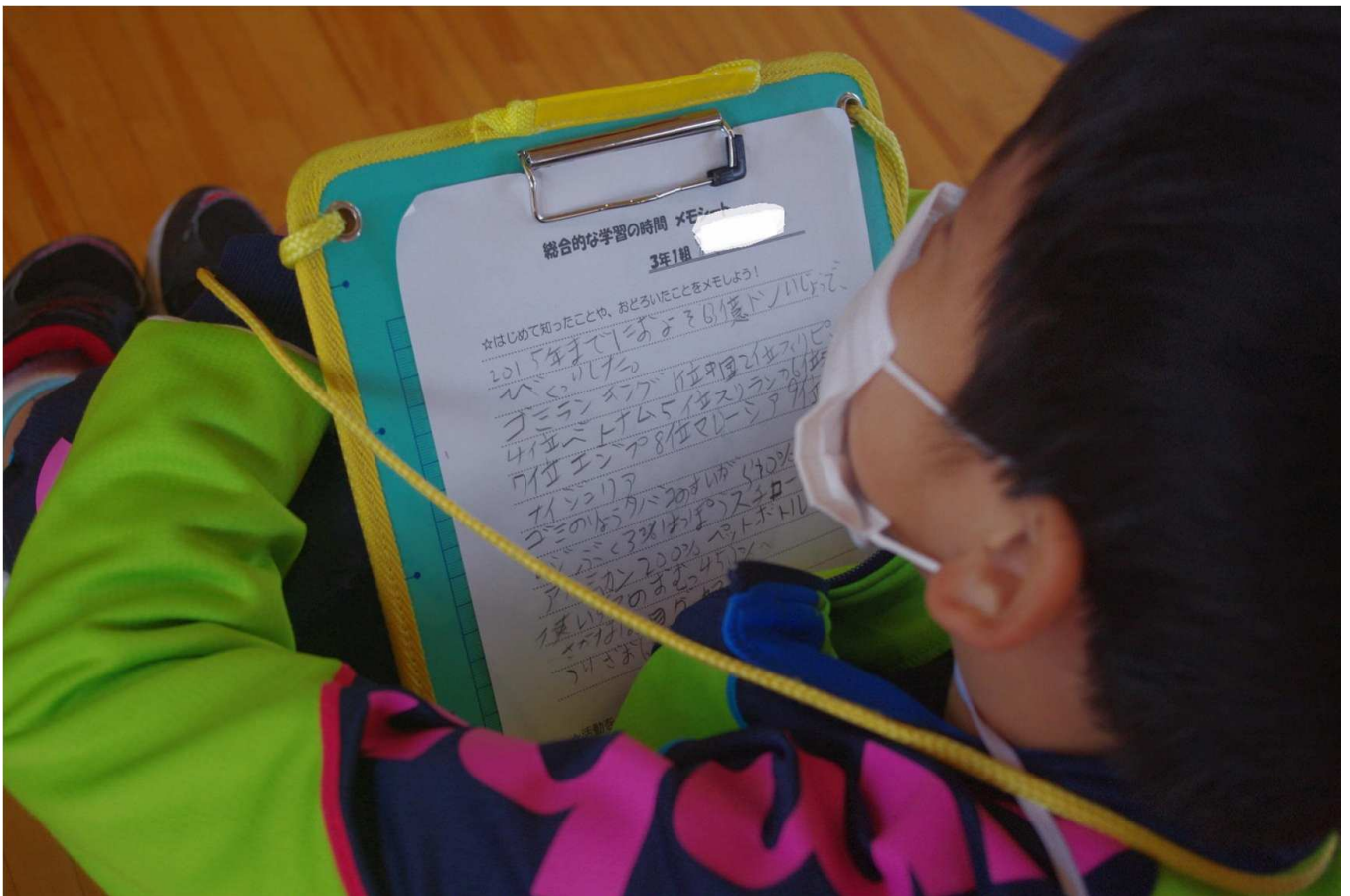


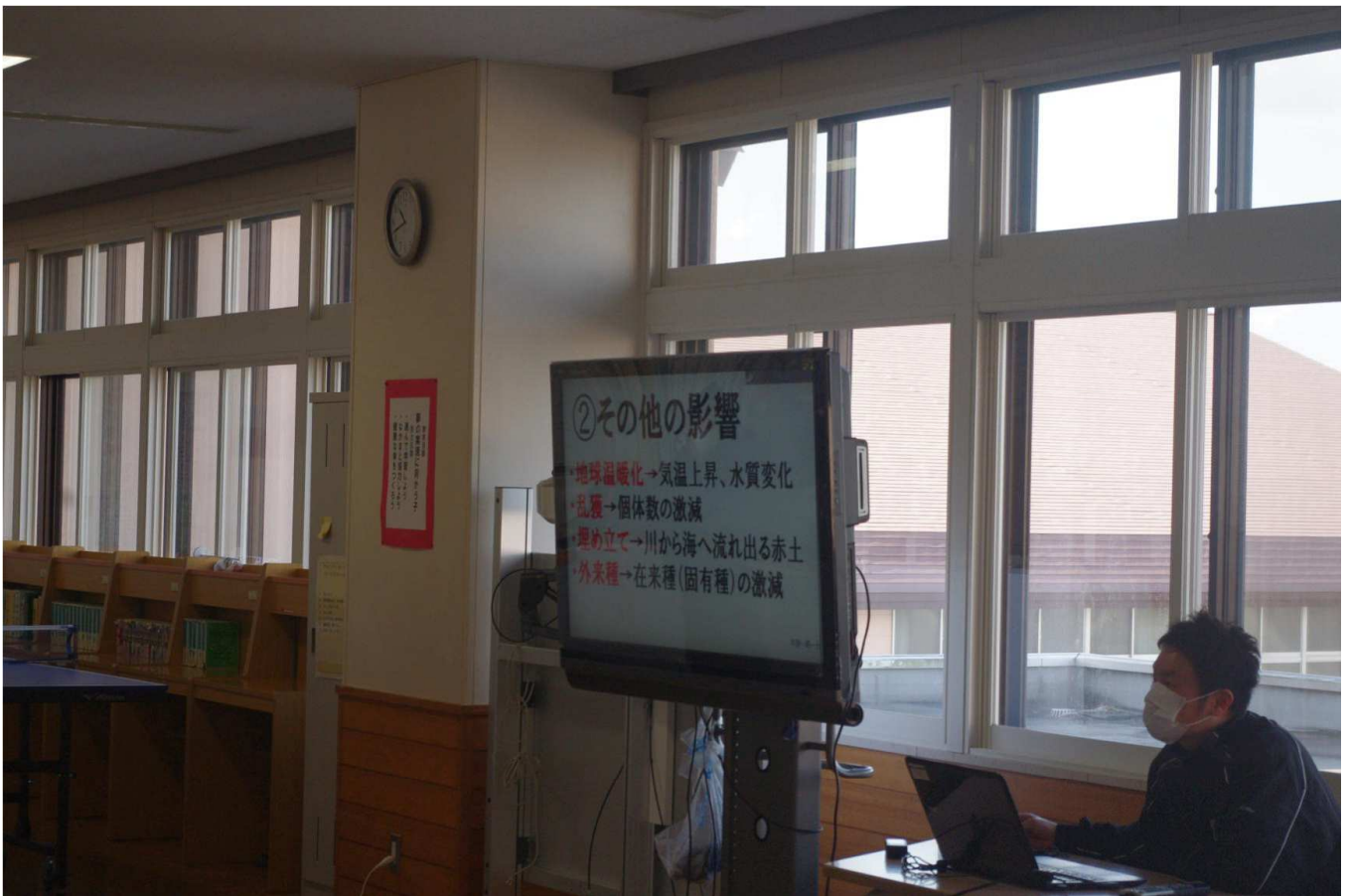














## 「絶滅危惧種」発表原稿資料

### (1) 調べた海洋生物

ぼく（わたし）が調べた海の絶滅危惧種は、

アメリカマナティーです。

### (2) 調べた内容（具体的に）

※名前の由来や別名、生息地（はんい）、体長、くわしい体の特徴、泳ぎ方、成長の変化、産卵場所、絶滅危惧種になった原因など、順に自由に書き、原稿にしよう。

アメリカマナティーは全長2.5~3.5m程度で、  
体重は200から600kg程度です。分布域はアメリカ  
合衆国のバージニア州北部からブラジル中部まで、  
にわたっている。マナティーはシュゴムと共に人気のモデル  
として知られていますがマナティーの野生での寿命は30年程度といわれて  
いますが飼育下では60年を超えたものもいるそうです。近年  
では生息数が減少してきて絶滅危惧種としてレッドリスト  
に指定されていますが分布域も連続しておらず、  
異なる個体数の減少も心配されています。

### (3) 感想（おどろいたこと・見直したいこと・取り組んでいきたいこと等）

ほとんどがアメリカマナティーが人気のモデルとして知られている  
ことにおどろきました。これから絶滅危惧種が  
入っているほしいです。

## 「絶滅危惧種」発表原稿資料

### (1) 調べた海洋生物

ぼく（わたし）が調べた海の絶滅危惧種は、

アマノカワテンジクダイです。

### (2) 調べた内容（具体的に）

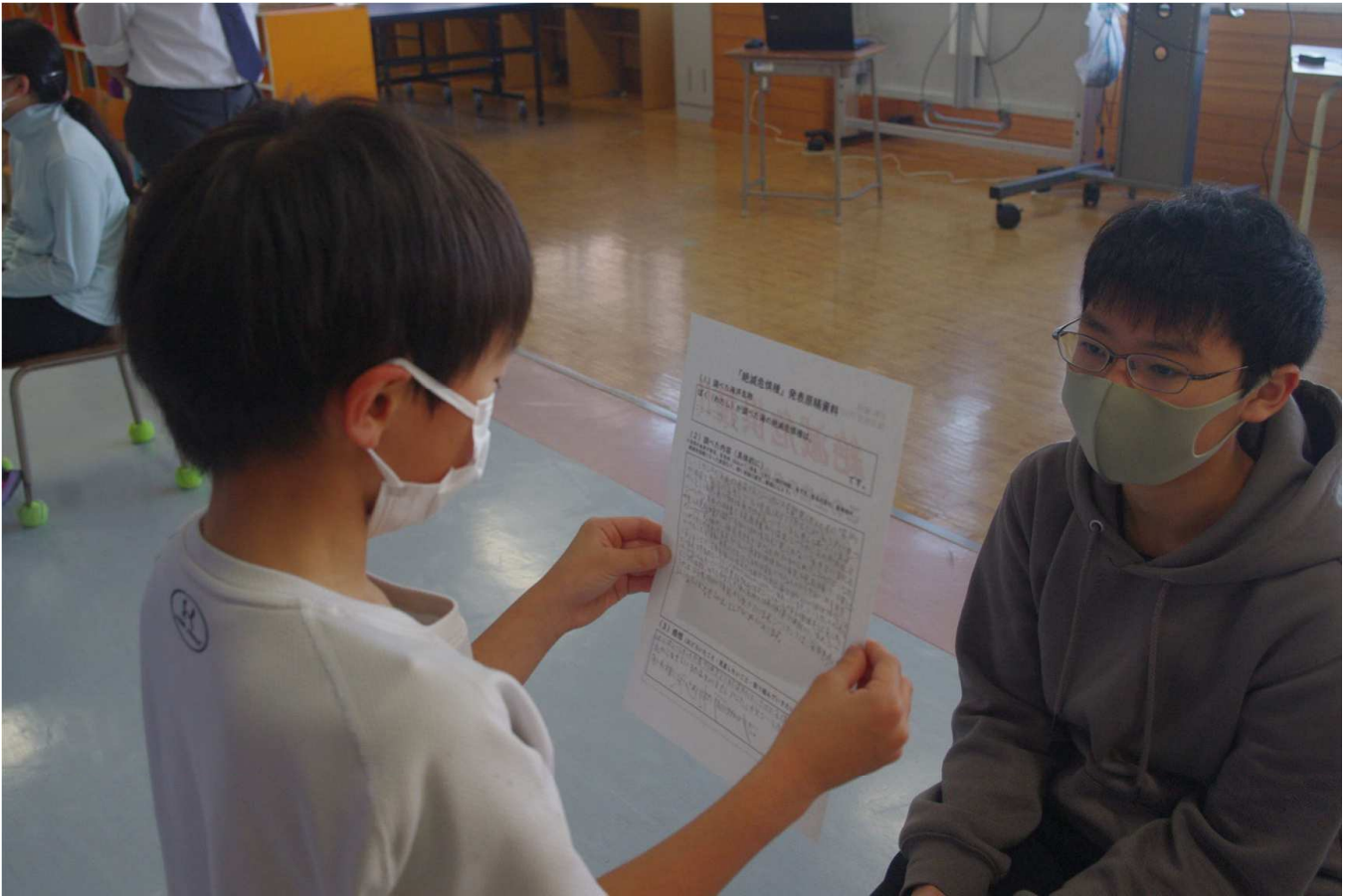
※名前の由来や別名、生息地（はんい）、体長、くわしい体の特徴、泳ぎ方、成長の変化、産卵場所、絶滅危惧種になった原因など、順に自由に書き、原稿にしよう。

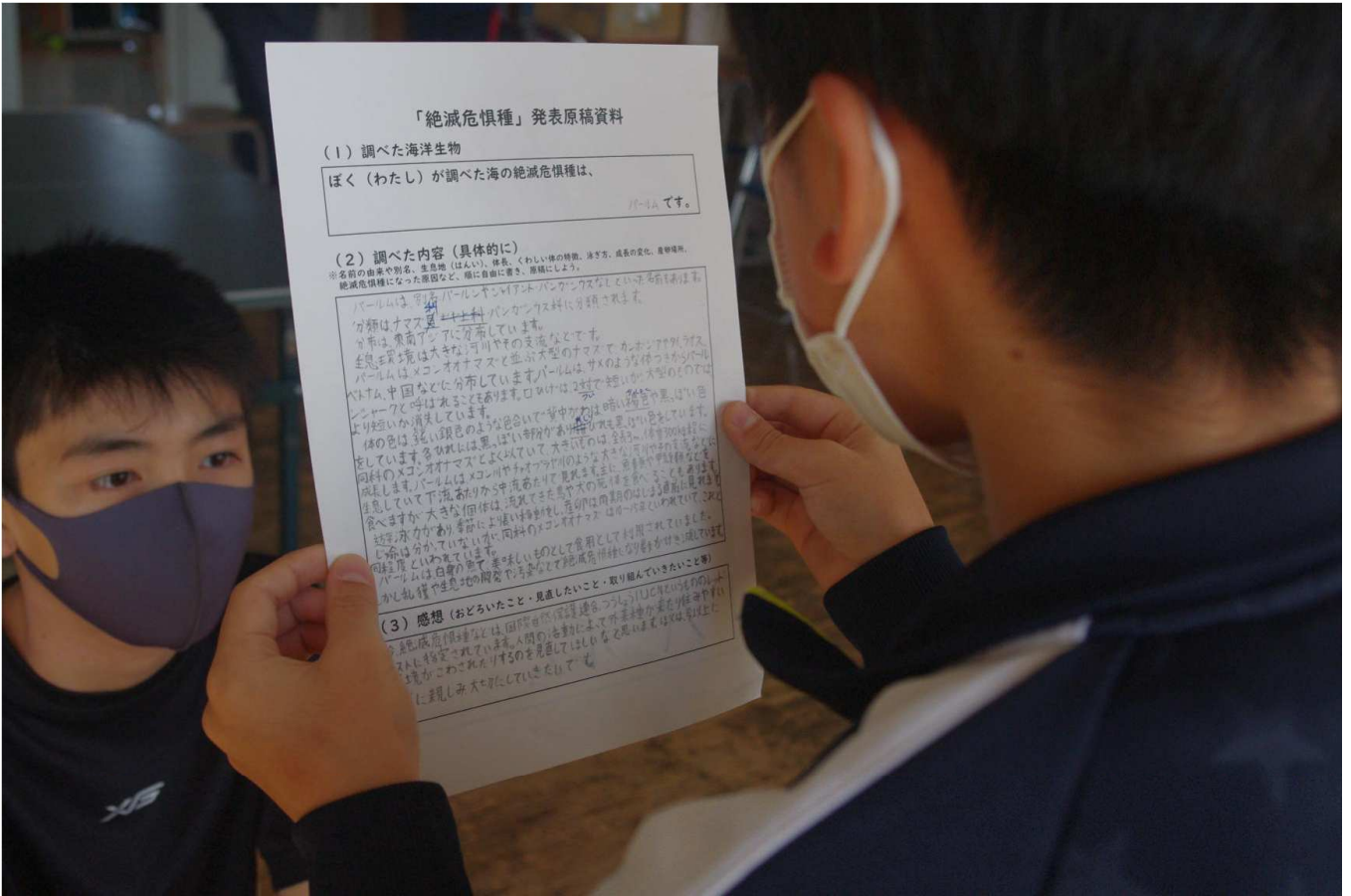
アマノカワテンジクダイは、別名、プテラポゴン、カウテル  
ニーといわれ、インドネシアのバンカイ諸島に生息してい  
ます。せひれは短いですが、腹ひれなどは長いです。  
全体にかなり特徴的な体つきをしています。体の色  
も特徴的で、白地には、きりとした三本の黒い帯もよ  
うに入っています。ふつうは、水深2m程度の浅いサンゴ  
しょう滅が、岩しょう滅などに生息していますが、水深  
15m辺りでも見られます。そして、生息地では、さんかく  
が行われ、現在は国産自然保護連合のレッドリス  
トに絶滅危惧種として記されたい大況になって  
います。その反面、人工的に持ち込まれたものかマレー  
シアなどの一部に定着しているなど、外来種の多入の  
問題もあけられている複雑な状況にもなっています。

### (3) 感想（おどろいたこと・見直したいこと・取り組んでいきたいこと等）

私は水深15mでも見られることに、びっくりしました。  
海に色々な物を捨てないように心がけていきたいで  
す。







「絶滅危惧種」発表原稿資料

(1) 調べた海洋生物

ぼく(わたし)が調べた海の絶滅危惧種は、  
パールムです。

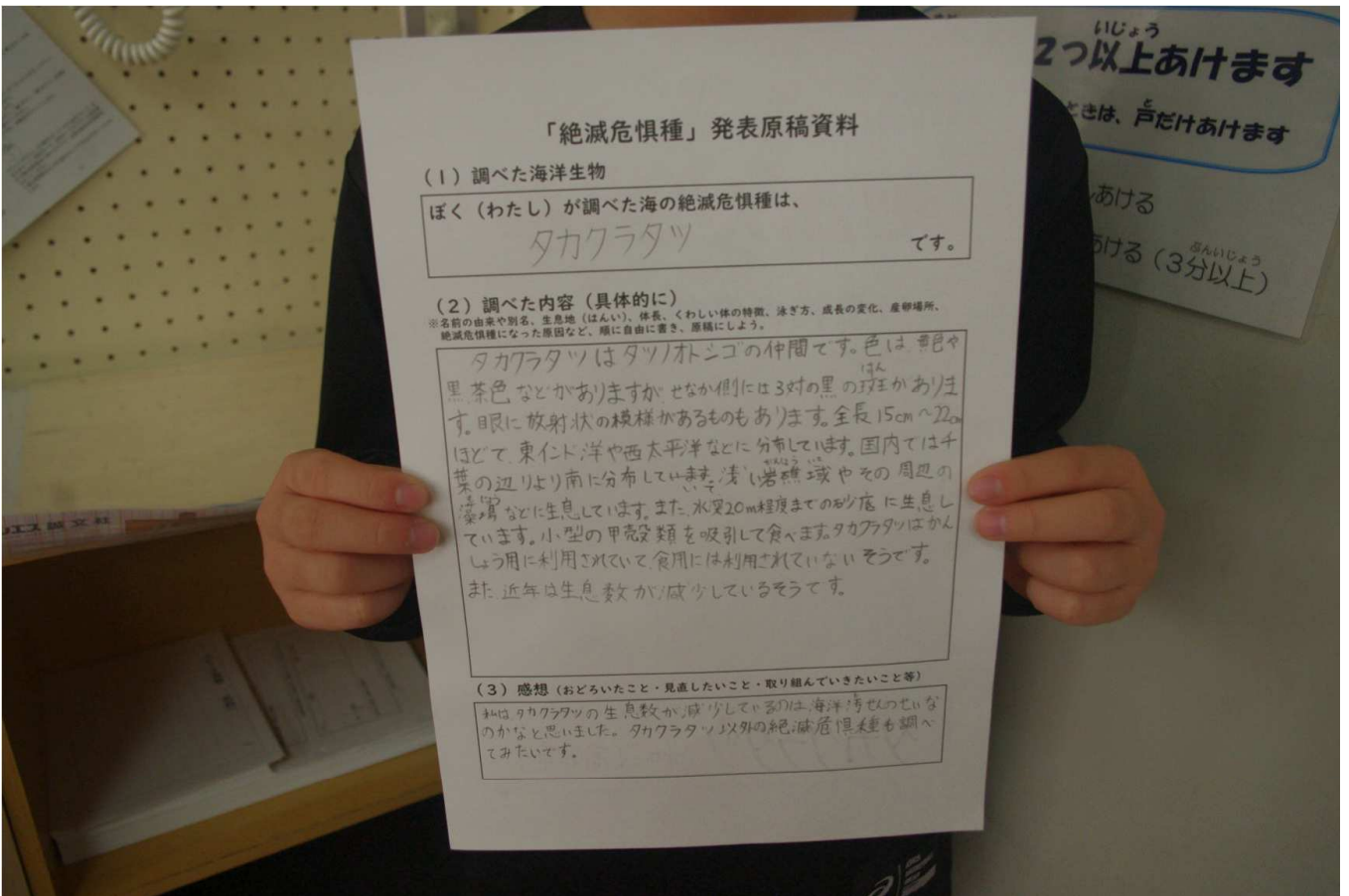
(2) 調べた内容(具体的に)

※名前の由来や別名、生息地(はんに)、体長、くわしい体の特徴、泳ぎ方、成長の変化、産卵場所、絶滅危惧種になった原因など、順に自由に書き、原稿にしよう。

パールムは、<sup>オーストラリア</sup>パース州のオーストラリアに分布しています。  
分類はナマズ目、<sup>オナマス科</sup>オナマス科に分類されます。  
分布は東南アジアに分布しています。  
生息場所は大きな河川やその支流などです。  
パールムは、メコンオナマスと並ぶ大型のナマズで、カンボジアやタイ、  
ベトナム、中国などに分布しています。パールムは、サメのような体つきから、  
センタークと呼ばれることもありますが、ロケは2対で短い。大型のものは  
より短いか消滅しています。  
体の色は、黒い銀色のような色合いで背中や側面は暗い色をしています。  
足は、黒い銀色の黒い帯状の模様があります。背中の背骨に  
生えています。オナマスとよく似ていて、大きければ、全長1.5mほどに  
成長します。パールムは、メコン川やチンブツ川のような大きな河川に生息する。  
生息して下流から5m流れて見られます。主に、魚や甲殻類などを  
食べますが、大きな個体は、泥やゴミを食べることも見られます。  
近年、クワガタや、オナマスは、生息地が減少してきています。  
理由は分かっていないが、同科のメコンオナマスは、利用されています。  
パールムは、白身の魚で、美味しいものとして、食用として利用されています。  
パールムは、生息地の開発や汚染などによって絶滅危惧種に指定されています。  
パールムは、生息地の開発や汚染などによって絶滅危惧種に指定されています。

(3) 感想(おどろいたこと・見直したいこと・取り組んでいきたいこと等)

絶滅危惧種などは、国際自然保護連合(イアンシー)によって絶滅危惧種に指定されています。絶滅危惧種に指定されている生物は、人間の活動によって絶滅の恐れがある生物を指します。絶滅危惧種に指定されている生物は、人間の活動によって絶滅の恐れがある生物を指します。



「絶滅危惧種」発表原稿資料

(1) 調べた海洋生物

ぼく(わたし)が調べた海の絶滅危惧種は、  
タカラタツ  
です。

(2) 調べた内容(具体的に)

※名前の由来や別名、生息地(はんに)、体長、くわしい体の特徴、泳ぎ方、成長の変化、産卵場所、絶滅危惧種になった原因など、順に自由に書き、原稿にしよう。

タカラタツはタツノオシゴの仲間です。色は青や  
黒茶色などがありますが、せなか側には3対の黒の斑があります。  
目に放射状の模様があるものもあります。全長15cm〜22cm  
ほどで、東インド洋や西太平洋などに分布しています。国内では千  
葉の辺りより南に分布しています。浅い岩礁域やその周辺の  
藻場などに生息しています。また、水深20m程度までの砂底に生息し  
ています。小型の甲殻類を吸引して食べます。タカラタツはかん  
しょう用に使われていて、食用には利用されていないそうです。  
また、近年は生息数も減少しているそうです。

(3) 感想(おどろいたこと・見直したいこと・取り組んでいきたいこと等)

私はタカラタツの生息数も減少しているのは海洋汚染のせいなのかなと思いました。タカラタツ以外の絶滅危惧種も調べてみたいです。



# 世界を如く知る

2 期生  
本名 山本 大志  
小名 大志 4年

## 気候変動、何?

気候変動とは長い時間で見ると、気候が変動する現象を指す。気候変動の原因は、自然要因と人為的要因に分かれる。自然要因は、火山活動や太陽活動の変動などである。人為的要因は、化石燃料の燃焼による温室効果ガスの増加などである。

温室効果とは、太陽の光が地球の表面を暖め、その熱が空気や水蒸気によって吸収され、再び地球の表面を暖める現象を指す。温室効果は、地球の気温を維持するために必要であるが、温室効果ガスの増加により、地球の気温が上昇し、気候変動を引き起こしている。

## 気候変動への対策

気候変動への対策は、温室効果ガスの削減と適応策の推進に重点を置く。温室効果ガスの削減には、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの推進などが有効である。適応策としては、気候変動による被害を軽減するための対策が求められる。

また、気候変動による被害を軽減するために、気候変動の影響を予測し、それに基づいて対策を講ずることが重要である。気候変動の影響を予測するためには、気候モデルを用いて、気候変動のシミュレーションを行う必要がある。

## 心と自然の被害

気候変動は、自然環境だけでなく、人間の心にも大きな被害をもたらしている。気候変動による自然環境の破壊や、気候変動による被害の増加により、人間の心は大きなストレスを感じ、心の健康を損なっている。

また、気候変動による被害の増加により、人間の心は大きな不安を感じ、心の健康を損なっている。気候変動による被害の増加により、人間の心は大きな不安を感じ、心の健康を損なっている。

# 現状新聞

2 期生  
本名 山本 大志  
小名 大志 4年

## サングの危機?

二十六年、サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。

サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。サングの危機は、環境問題の深刻さを示している。

## 魚がいなくなる?

魚がいなくなる? 気候変動による海水温の上昇は、魚の生息環境を大きく変えている。海水温の上昇により、魚の生息環境は大きく変えられ、魚の数が減少している。

また、海水温の上昇により、魚の生息環境は大きく変えられ、魚の数が減少している。海水温の上昇により、魚の生息環境は大きく変えられ、魚の数が減少している。

## 解決策は?

解決策は? 気候変動への対策は、温室効果ガスの削減と適応策の推進に重点を置く。温室効果ガスの削減には、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの推進などが有効である。

また、気候変動による被害を軽減するために、気候変動の影響を予測し、それに基づいて対策を講ずることが重要である。気候変動の影響を予測するためには、気候モデルを用いて、気候変動のシミュレーションを行う必要がある。









